

## 登下校中に大きな地震が起きた場合の対応について

### 1. 地震の揺れを感じたら

- 周囲の状況を十分に確認して、「落ちやすいもの」「倒れやすいもの」「移動しやすいもの」から離れてしゃがむ。
- バッグなどで頭を守る。
  - ・屋根瓦、外壁、ガラス、看板の落下に注意するとともに、ブロック塀、電柱、電線、自動販売機からできるだけ離れる。崖・山崩れ、堤防決壊、液状化現象などにも注意が必要で、崩れそうな場所や水のそばからできるだけ離れる。
  - ・自転車に乗っていたらすぐに降りる。
  - ・橋や歩道橋の上にいる時は、動けるのなら早く渡りきる。
  - ・バス・電車に乗っている時は、棚から荷物が落ちてこないか確認する。  
座っている時は、手すりや座席にしっかりつかまる。立っている時は、手すりなどにつかまるか、つかまれない時はしゃがむ。

※大規模な災害時は「むやみに移動を開始しないこと」が重要。最寄りの安全な場所へ移動したら、まずは混乱が収まるまで待機しましょう。「遠くの自宅より近くで待機」です。

### 2. 地震の揺れがおさまったら

- 崖や山崩れのおそれのある場所、河川、海岸からできるだけ離れる。高台に避難する。
- 徒歩や自転車を使用している場合は、最寄りの避難場所に行く。
- 公共交通機関利用者は、乗務員の指示・誘導に従う。
- 避難後、登校するか、帰宅するか、その場で待機するかは、状況を判断して安全な行動を選ぶ。